

平成 26 年度

事 業 報 告

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本海事科学振興財団

目 次

第1 一 般 概 況	1
第2 事 業	2
I. 海洋に関する博物館事業	
1. 「船の科学館別館展示場」の公開	2
2. 屋外展示資料の保存整備	2
3. ボランティアの受け入れ	3
4. 博物館の機能整備	3
5. 船の科学館将来計画の策定	4
II. 海洋に関する科学知識の普及啓発事業	
1. 海洋に関する科学知識の普及啓発活動	4
2. 海と船の博物館ネットワーク活動	9
III. その他財団の目的達成に必要な事業	
1. 海洋及び船舶に関する研究	19
2. 広報活動	19
3. 諸施設の利用状況	20
4. その他	20
第3 管 理 業 務	21
1. 基 本 財 産	21
2. 役員・評議員	21
3. 会 議	22
4. 平成26年度における助成金の交付及び精算	23
5. 平成27年度助成金の交付申請	24
6. 諸 願 ・ 届 出	24
7. 登 記	25
8. 定 款	25
9. 規 程 ・ 達	25
10. 情 報 開 示	26
11. 外 部 監 査	26

12. 事務局	26
13. 施設管理業務	27

別 紙

役員名簿	別紙1 28
評議員名簿	別紙2 29
事務局の組織	別紙3 30
「別館展示場」及び“宗谷”月別利用実績表	別紙4 31
事業報告の附属明細書	32

第 1 一 般 概 況

公益財団法人日本海事科学振興財団(以下、「財団」という)は、海洋に関する科学知識について一般国民特に青少年に対しその普及を図り、もって海洋文化の発展に寄与することを目的に、日本財団よりボートレースの交付金による支援を得て、海洋に関する博物館事業及び海洋に関する科学知識の普及啓発事業を実施している。

財団設立から40年を経た平成19年7月、海洋の開発及び海洋環境の保全との調和、科学的知見の充実、海洋産業の健全な発展等を基本理念とする海洋基本法が施行され、同法28条には学校教育のみならず社会教育における海洋教育の推進が掲げられた。

また、平成25年4月に閣議決定された新しい海洋基本計画において、海洋に関する教育の総合的な支援体制を整備する観点から、学校教育と水族館や博物館等の社会教育施設との連携を促進することが謳われている。

これらは、博物館や水族館をはじめとする多くの社会教育施設は学校教育が行う海洋教育のサポーターとしての機能も期待されていることを端的に表しており、財団の今後の活動の方向性を判然とさせるものである。

本年度の海洋に関する博物館事業としては、船の科学館別館展示場において、「にっぽんの海」や「海をまもる」等7か所のブース展示を設け、船舶模型や所蔵資料の一部を公開した。また、昭和13年2月に耐氷貨物船として進水し、特務艦として第二次世界大戦を生き抜き、戦後の昭和31年から37年に初代南極観測船として活躍した“宗谷”を公開するとともに、敷地内に大型スクリュープロペラや灯台、戦艦“陸奥”主砲といった実物展示品を配し、歴史的遺産や本物に触れてこそ初めて味わえる感動を来館者に与えた。その結果、他団体との共催、協力催事等と併せて、延べ184,766名の当館利用者を迎えた。

海洋に関する科学知識の普及啓発事業については、体験学習プールを利用してカヌー操船体験教室を開催するとともに収蔵資料のデータベース整備や収蔵資料の他館への貸し出しを行ったほか、全国41カ所の博物館、資料館で開催された企画展への支援を行った。なお、企画展支援事業については、海洋基本法及び海洋基本計画の趣旨に鑑み、事業の抜本的な見直しを行うこととし、本年度においては、全国の博物館における海洋教育実施状況調査を実施するとともに、博物館や海洋教育に関する有識者より様々なご意見を聴取する懇談会を開催した。その結果、次年度以降の事業として海洋に関する生涯学習の場の拡大や常に海を意識して行動できる人材の育成を目指すことを目的とした「海の学びミュージアムサポート」という、わが国の社会教育施設を支える新たな仕組みを構築することとした。

以上により、国内各地域における海洋に関する科学知識普及の拠点である博物館等社会教育施設との海洋教育ネットワークの拡充を図り、当館が海洋教育の中核的施設として広く認知されることを目指すという本年度の目標は達成できたものと総括する。

第 2 事 業

I. 海洋に関する博物館事業

1. 「船の科学館別館展示場」の公開

船の科学館別館展示場の公開については、国連海洋法条約における日本の海とその海を守るための取り組みを紹介する「にっぽんの海」や「海を守る」と題したコーナーを中心に収蔵品の中から一部資料を公開して展示活動を行った。

入場者数	86, 988名
公開日数	307日
当館の休館日に伴う未公開日数	58日

2. 屋外展示資料の保存整備

初代南極観測船“宗谷”等の屋外展示資料を公開するため、展示資料を適切に保存し、来場者への良好な見学環境を提供するための保守管理を行った。

①初代南極観測船“宗谷”的一般公開

乗船者数	70, 438名
公開日数	285日
当館の休館日及び整備工事に伴う未公開日数	80日

※ 同船は保存整備工事のため、平成26年12月の1か月間公開を休止した。

②初代南極観測船“宗谷”的保存整備工事

老朽化による損傷が著しく、雨水の漏入等が見られた船橋・煙突廻り、左舷11m作業艇ダビット、端艇甲板、両舷バルジトップの整備工事を実施した。

工期：平成26年12月1日～27日

工事業者：桜インダストリー株式会社

工事費用：8,000,000円

※1 工事費用8,000,000円のうち、6,517,649円については“宗谷”保存募金の残額を使用した。

※2 “宗谷”保存募金の募集期間、募金総額及び使途は以下のとおり

①募集期間 平成15年3月～平成23年3月

②募金総額 10,717,649円

③使途 コンパスデッキ補修工事 4,200,000円 (平成17年度事業)

船橋・煙突廻り等整備工事 6,517,649円 (平成26年度事業)

③初代南極観測船“宗谷”船舶検査

実施日：平成27年3月2日

検査機関：関東運輸局東京運輸支局

内容：船舶安全法施行規則に基づく第一種中間検査

3. ボランティアの受け入れ

「船の科学館別館展示場」及び初代南極観測船“宗谷”にボランティアガイドを配置し、展示解説を行うとともに来館者からの質問に対応した。

登録者総数：121名 総活動人員：212名

4. 博物館の機能整備

船の科学館の適切な運営を図るため、施設運用保守管理、昇降機保守点検、消防設備点検等を行った。

①施設運用保守管理

委託業者：(株)セントラルアメニティサービス

契約期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

内容：施設の運用に係る諸設備の保守管理

②昇降機保守点検

委託業者：(株)日立ビルシステム

契約期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

内容：エレベーターの保守点検業務

③消防用設備保守点検

委託業者：(有)ミナミ

契約期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

内容：消防用設備の保守点検業務

④電話交換機保守点検

委託業者：(株)クリエイトコミュニケーションシステム

契約期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

内容：電話交換機の保守点検業務

⑤受変電設備点検（本館特高部）

委託業者：東京電設サービス(株)

実施日：平成26年12月22日

内容：本館受変電設備（本館特高部）の点検業務

⑥受変電設備点検（本館低圧部）

委託業者：(株)きんでん

実施日：平成26年12月22日

内容：本館受変電設備(本館低圧部)の点検業務

5. 船の科学館将来計画の策定

海洋立国日本を代表する海洋博物館の実現を目指し、将来に向けての新たな博物館構想の取り組みを継続するとともに、財団全体の事業スキームの再構築を検討した。

II. 海洋に関する科学知識の普及啓発事業

1. 海洋に関する科学知識の普及啓発活動

船の科学館が開館以来40年間にわたり収集・作成してきた資料や展示物等を現在実施している事業で活用するとともに、新たな海洋博物館においても有効活用するため、収蔵品のデータベースの構築を行った。

また、海洋への興味・関心を喚起することを目的に、カヌーの操船体験教室や関係機関との連携事業等を実施した。

(1) 収蔵品データベースの整備

収蔵品管理システムに関する収蔵資料データを財団ホームページ等で公開するための整備を行った。

(2) 資料の受入

①日本海軍駆逐艦“島風”模型（縮尺1/300・ケース付）等265件の受入を行った。

(3) 資料の貸出

①島根県総務部竹島資料室

貸出資料：さわれる地形模型「竹島」

貸出期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

②警視庁東京湾岸警察署

貸出資料：油彩絵画「八丈島神湊漁港」（額付）他2点

貸出期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

③神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館

貸出資料：船舶模型「原子力船“むつ”（縮尺1/100）」（ガラスケース付）

貸出期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

④三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所

貸出資料：二式大型飛行艇火星22型エンジン

貸出期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

⑤アクアワールド茨城県大洗水族館

貸出資料：ヘルメット式潜水服他10点

貸出期間：平成26年7月1日～9月18日

⑥呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）
貸出資料：戦艦武藏「進水式入場章」
貸出期間：平成26年7月3日～9月30日

⑦水と緑と詩のまち前橋文学館
貸出資料：住谷磐根・田中稻三絵画作品14点
貸出期間：平成26年7月11日～9月2日

⑧北九州市立自然史・歴史博物館
貸出資料：海と船の巡回展アイテム
貸出期間：平成26年7月17日～9月30日

⑨安城市歴史博物館
貸出資料：船舶模型安宅型軍船（縮尺1/25）
貸出期間：平成26年9月1日～11月20日

⑩公益財団法人三笠保存会
貸出資料：船舶模型戦艦“三笠”他1点
貸出期間：平成26年9月3日～平成27年3月31日

⑪陸奥の会
貸出資料：船舶模型戦艦“陸奥”（アクリル製ケース付）
貸出期間：平成26年9月3日～平成27年3月31日

⑫品川区立品川歴史館
貸出資料：船舶模型蒸気軍艦“観光丸”他1点
貸出期間：平成26年9月24日～12月12日

⑬木更津市郷土博物館金のすず
貸出資料：船舶模型五大力船他11点
貸出期間：平成26年9月25日～平成27年1月15日

⑭千葉県立関宿城博物館
貸出資料：船舶模型 外輪蒸気船“通運丸”（縮尺1/20）他12点
貸出期間：平成26年10月7日～11月30日

⑮発砲スチロール協会
貸出資料：昭和基地断熱パネル
貸出期間：平成26年10月27日～12月20日
平成27年1月7日～3月20日

⑯日本海洋学会教育問題研究会
貸出資料：海と船の巡回展「泳ぎの回転寿司」他2点
貸出期間：平成26年10月27日～12月20日

⑯流山市立博物館

貸出資料：船舶模型 外輪蒸気船“通運丸”（縮尺1/20）他12点

貸出期間：平成26年12月16日～平成27年2月15日

⑰神奈川県立歴史博物館

貸出資料：船舶模型戦艦“大和”（縮尺1/100）

貸出期間：平成27年1月20日～3月31日

⑲島根県立古代出雲歴史博物館

貸出資料：鎌倉時代の準構造船

貸出期間：平成27年3月1日～5月31日（予定）

⑳日本郵船歴史博物館

貸出資料：二式大型飛行艇精密解剖図他9点

貸出期間：平成27年3月5日～7月10日（予定）

（4）写真資料の貸出

出版会社等への写真資料の貸出を行った。

40件109点

（5）資料の借用

①東京国立博物館

借用資料：船舶模型“麒麟丸”

他14点

借用期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

②（株）商船三井

借用資料：船舶模型“報国丸”

他3点

借用期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

③東京大学大学院

借用資料：船舶模型“小菅丸”

他13点

借用期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

④鉄道博物館

借用資料：船舶模型 千石船（半割）

他6点

借用期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

⑤山高 登氏

借用資料：黄海海戦で奮戦する“赤城”油彩画

他30点

借用期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

（6）博物館活動への参加

①日本博物館協会平成26年度全国博物館長会議

開催日：平成26年6月11日

場 所：文部科学省

②平成26年度第1回全国科学博物館協議会総会

開催日：平成26年6月12日

場 所：国立科学博物館

③みなとの博物館ネットワークフォーラム平成26年度通常総会

開催日：平成26年6月20日

場 所：新潟市歴史博物館

④日本フローティングシップ協会平成26年度定期総会

開催日：平成26年6月28日

場 所：（一財）WNI気象文化創造センター・しらせ

⑤平成26年度第1回東京都博物館協議会常務理事会・理事会及び日本博物館協会東京支部委員会・総会・研修会

開催日：平成26年8月8日

場 所：明治大学駿河台キャンパス

⑥みなとの博物館ネットワークフォーラム平成26年スキルアップ交流会

開催日：平成26年12月11日～12日

場 所：沖縄県那覇市・名護市

⑦平成26年度第2回東京都博物館協議会常務理事会・理事会及び日本博物館協会東京支部委員会

開催日：平成27年3月23日

場 所：科学技術館

（7）催事等の開催

①講談「南極第一次観測隊物語」

講談師 宝井梅福氏が、初代南極観測船“宗谷”にまつわる物語を、臨場感溢れる講談にして来館者に伝えた。

開催期間：平成26年4月～11月

5回

開催場所：“宗谷”士官食堂等

参加者数：81名

②カヌー操船体験教室

カヌーの操船体験を通して、海と船への興味と関心を喚起するとともに、浮力や復元性など、実体験の中から学んでもらう教室を開催した。

開催期間：平成26年5月～10月

4回

開催場所：船の科学館 体験教室プール

参加者数：221名

③セーリングカヌー操船体験教室

プロセーラー西村一広氏を代表とするチームニシムラプロジェクト及び東京海洋大学ヨ

ット部OBの協力を得て、セーリングカヌーの操船体験教室及びスキルアップ講習会を行った。

開催日：平成26年5月～10月

5回

開催場所：船の科学館 体験教室プール

参加者数：469名

④特別展示「和船模型100隻勢ぞろい」

ボランティアの中山幸雄氏が制作した江戸の町並みや港に停泊する船の様子を同一縮尺で再現した「江戸湊」のジオラマ模型を展示し、同氏による解説を行った。

開催期間：平成26年7月19日～21日

3日間

開催場所：船の科学館本館1階ロビー

入場者数：1,299名

⑤ボランティアの展示解説

「船の科学館別館展示場」及び初代南極観測船“宗谷”について分かりやすく展示解説した。

開催期間：随時

86回

開催場所：「船の科学館別館展示場」及び“宗谷”

⑥「海と船のおはなし会—絵本の読み聞かせ—」

「海洋」をテーマとした絵本の読み聞かせを一般来館者向けに実施し、あわせて当館学芸員による「絵本」のテーマや別館展示場にある展示資料に関連した内容のミニギャラリートークを行った。

開催日：平成27年3月22日

1日間

開催場所：「船の科学館別館展示場」

入場者数：20名

(8) 共催・後援・協力事業

「海」「船」などをテーマとした各種事業に共催・後援・協力をを行い、海事科学知識の普及啓発に努めた。

①第4回青函連絡船講演会

開催期間：平成26年5月24日

開催場所：船の科学館本館1階ロビー

主 催：青函連絡船史料研究会

参加者数：59名

②夏休み東京港親子社会科見学会

開催期間：平成26年8月7日

開催場所：船の科学館、青海客船ターミナル他

主 催：東京都港湾局

参加者数：321名

③第13回水ものフェスティバル in 船の科学館

開催期間：平成26年8月31日

開催場所：船の科学館 体験教室プール

主 催：水ものフェスティバル in 船の科学館実行委員会

参加者数：34名

④第5回青函連絡船講演会

開催期間：平成26年10月4日

開催場所：船の科学館本館1階ロビー

主 催：青函連絡船史料研究会

参加者数：50名

⑤第15回未来に残そう青い海・海上保安庁图画コンクール

開催期間：平成26年11月5日～9日

開催場所：船の科学館別館展示場

主 催：海上保安庁

見学者数：1,395名

2. 海と船の博物館ネットワーク活動

海洋に関する国民の理解増進を目的に、全国41か所の博物館・資料館・水族館等の社会教育施設で開催された海洋をテーマとした41の企画展・特別展及びそれらに付帯する各種普及事業に支援助成を行い「海と船の企画展」として開催した。また平成27年度からの展開を見据えた当事業の抜本的な見直しに関する業務を行った。

（1）「海と船の企画展」への支援

●事務局関係

①「海と船の企画展」現地調査

「海と船の企画展」の事前説明、現地調査及び支援活動に係る打合せを実施した。

②「海と船の企画展」統一ポスターの制作及び発送

「海と船の企画展」統一ポスターを制作し海事関係博物館、資料館等へ発送した。

●企画展関係

①主に盲学校、特別支援学校、山間部の学校を対象とした触れる巡回水族館

主 催：すさみ海立エビとカニの水族館

開催時期：平成26年3月20日～平成27年3月22日

場 所：幼稚園・保育園（6園）

①和歌山市立紀伊幼稚園

②田辺市立立正幼稚園

③紀南幼稚園

④こどものへや保育園

⑤くるみ保育園

⑥すみれ保育園

小学校（6校）

⑦田辺市立咲楽小学校

⑧田辺市立会津小学校

⑨田辺市立富里小学校

⑩田辺市立三里小学校

⑪みなべ町立南部小学校

⑫和歌山市立紀伊小学校

支援学校（2校）

⑬和歌山県立たちばな支援学校

⑭和歌山県立はまゆう支援学校

図書館・公民館等（5か所）

⑮大淀町立図書館

⑯堺出島漁港

⑰みなべ町保健福祉センター

⑯北コミュニティーセンターISTA はばたき

⑰ヤマイチ・エステート

入場者数：19, 217名（計19か所）

②海と船の企画展「古代の海と恐竜・ほ乳類」

主 催：なぎビカリアミュージアム

開催時期：平成26年3月21日～5月6日

場 所：なぎビカリアミュージアム

入場者数：2, 967名

③特別展「佐久間象山と横浜—海防、開港、そして人間・象山—」

主 催：横浜市歴史博物館

開催時期：平成26年5月31日～7月6日

場 所：横浜市歴史博物館

入場者数：9, 366名

④企画展「タコとタコツボ～タコとヒトとの知恵くらべ」

主 催：きしわだ自然資料館

開催時期：平成26年6月1日～7月21日

場 所：きしわだ自然資料館

入場者数：3, 507名

⑤連続企画展「海と洋を結ぶ湖」

主 催：滋賀県立安土城考古博物館

開催時期：平成26年6月3日～12月27日

場 所：滋賀県立安土城考古博物館

入場者数：40, 611名

⑥平成26年度春季特別展「海路—海港都市の発展とキリスト教受容のかたち一」

主 催：西南学院大学博物館

開催時期：①平成26年6月16日～8月30日

②平成26年9月4日～10月18日

③平成26年11月8日～12月19日

場 所：①西南学院大学博物館

②梅光学院大学博物館

③神戸大学海事博物館

入場者数：5, 550名

(①3, 250名、②1, 500名、③800名)

⑦平成26年度企画展「海上に浮かぶ企画展 須磨ドルフィンコースト」

主 催：神戸市立須磨海浜水族園

開催時期：平成26年7月1日～8月31日

場 所：神戸市立須磨海浜水族園

入場者数：34, 427名

⑧平成26年度 特別展

「八甲田丸就航50周年記念・青函連絡船八甲田丸—50年のあゆみ—」

主 催：特定非営利活動法人あおもりみなとクラブ

青森市港湾文化交流施設 青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸

開催時期：平成26年7月1日～10月31日

場 所：青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸

入場者数：41, 535名

⑨平成26年度夏の特別展「THE モンスター展」

主 催：北九州市立自然史・歴史博物館

開催時期：平成26年7月11日～9月23日

場 所：北九州市立自然史・歴史博物館

入場者数：117, 585名

⑩開館20周年記念企画展「新茨城風土記—ひとと自然のものがたり—」

主 催：ミュージアムパーク茨城県自然博物館

開催時期：平成26年7月12日～11月24日

場 所：ミュージアムパーク茨城県自然博物館

入場者数：186, 586名

⑪「船舶模型から学ぶ人・海・船～海運の過去・現在・未来～」

主 催：神戸大学海事博物館

開催時期：平成26年7月18日～10月31日

場 所：神戸大学海事博物館

入場者数：876名

⑫平成26年度企画展「胸キュン☆サンゴ展 ～わたしを深海につれてって～」

主 催：鳥取県立博物館

開催時期：平成26年7月19日～8月31日

場 所：鳥取県立博物館

入場者数：11, 695名

⑬名古屋ポートビル30周年記念特別展

「ポートビルタイムトラベラーズ—発見！過去・現在・未来のたからを探せ!!—」

主 催：名古屋海洋博物館・南極観測船ふじ

開催時期：平成26年7月19日～9月15日

場 所：名古屋海洋博物館・南極観測船ふじ

入場者数：31, 849名

⑭平成26年度特別展

「海のスペシャリスト—小説『村上海賊の娘』にみる“海賊働き”とは—」

主 催：今治市村上水軍博物館

開催時期：平成26年7月19日～9月23日

場 所：今治市村上水軍博物館

入場者数：21, 223名

⑮特別展示「海一生命の歴史～海が私たちに残したもの～」

主 催：笠岡市立カブトガニ博物館

開催時期：平成26年7月19日～9月30日

場 所：笠岡市立カブトガニ博物館

入場者数：20, 137名

⑯平成26年度企画展示『魚米之郷—太湖・洞庭湖と琵琶湖の水辺の暮らし—』

主 催：滋賀県立琵琶湖博物館

開催時期：平成26年7月19日～11月24日

場 所：滋賀県立琵琶湖博物館

入場者数：37, 227名

⑯企画展「海のごちそう、いただきます！ 魚食のいま・むかし」

主 催：海の博物館

開催時期：平成26年7月19日～11月30日

場 所：海の博物館

入場者数：14, 313名

⑯第20回函館の「海と港」児童絵画展

主 催：函館市北洋資料館

開催時期：平成26年7月20日～8月17日

場 所：函館市北洋資料館

入場者数：2, 581名

⑯「海のまちと希望の帆船」

主 催：宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）

開催時期：平成26年7月21日～10月26日

場 所：宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）

入場者数：17, 530名

⑯「海のふしぎをサイエンス」

主 催：広島市江波山気象館

開催時期：平成26年7月26日～8月24日

場 所：広島市江波山気象館

入場者数：10, 683名

⑯企画展「富士山の足元 駿河湾 海の生きもの大研究！」

主 催：東海大学海洋科学博物館

開催時期：①平成26年7月26日～8月31日

（ふれて みて サメと海の生きものたち）

②平成26年10月1日～平成27年2月28日

（駿河湾季節の生きもの）

場 所：東海大学海洋科学博物館

入場者数：98, 575名

（①51, 819名、②46, 756名）

⑯海の新幹線・津軽丸型連絡船

主 催：特定非営利活動法人語りつぐ青函連絡船の会

函館市青函連絡船記念館摩周丸

開催時期：①平成26年8月1日～8月31日

(摩周丸一般配置図試作品の展示及び工作教室の実施)

②平成26年11月22～平成27年3月31日

(企画展「海の新幹線・津軽丸型連絡船」)

場 所：函館市青函連絡船記念館摩周丸

入場者数：17, 099名 (①7, 745名、②9, 354名)

②3 「海洋の探査技術と生命の多様性展」

主 催：科学技術館

開催時期：平成26年8月9日～8月25日

場 所：科学技術館

入場者数：36, 000名

②4 平成26年度名護博物館企画展

「生物の移動展～海山越えろ！生きものたちの大冒険～」

主 催：名護博物館

開催時期：平成26年8月15日～9月28日

場 所：名護博物館

入場者数：3, 424名

②5 里見氏安房国替400年特別展「里見氏の遺産・城下町館山一東京湾の湊町一」

主 催：館山市立博物館

開催時期：平成26年9月6日～10月19日

場 所：館山市立博物館

入場者数：6, 729名

②6 「南からみる中世の世界～海に結ばれた琉球列島と南九州～」

主 催：鹿児島県歴史資料センター黎明館

開催時期：平成26年9月27日～11月3日

場 所：鹿児島県歴史資料センター黎明館

入場者数：3, 869名

②7 「恐竜 in ごとう 2014～発見！海からはじまる生命の歴史～」

主 催：五島觀光歴史資料館

開催時期：平成26年10月4日～11月9日

場 所：五島觀光歴史資料館

入場者数：2, 742名

②8 企画展「日本の海の玄関 大さん橋物語」

主 催：横浜みなと博物館

開催時期：平成26年10月4日～11月24日

場 所：横浜みなと博物館

入場者数：13, 257名

②企画展「闇夜の動物たち」

主 催：群馬県立自然史博物館

開催時期：平成26年10月4日～11月30日

場 所：群馬県立自然史博物館

入場者数：36, 316名

③「古墳時代の船と水運」

主 催：高槻市立今城塚古代歴史館

開催時期：平成26年10月4日～11月30日

場 所：高槻市立今城塚古代歴史館

入場者数：13, 758名

④平成26年度地域連携巡回展

「通運丸で結ばれた関宿・野田・流山一海運へのターニングポイントー」

主 催：千葉県立関宿城博物館

開催時期：①平成26年10月7日～11月30日

②平成26年12月16日～平成27年2月15日

場 所：①千葉県立関宿城博物館

②流山市立博物館

入場者数：17, 494名 (①13, 940名、②3, 554名)

⑤海洋回廊一海の道“薩摩”ー

主 催：南さつま市坊津歴史資料センター輝津館

開催時期：平成26年10月18日～平成27年1月25日

場 所：南さつま市坊津歴史資料センター輝津館

入場者数：2, 123名

⑥大黒屋光太夫記念館第10回特別展

「漂流・漂着ものがたりー海へ往く者 海から来る者ー」

主 催：大黒屋光太夫記念館

開催時期：平成26年10月25日～12月14日

場 所：大黒屋光太夫記念館

入場者数：1, 230名

⑦平成26年度企画展「土佐湾の深海生物展～深海ってどんなところ？～」

主 催：桂浜水族館

開催時期：平成26年11月1日～平成27年1月31日

場 所：桂浜水族館

入場者数：14,000名

③平成26年度博物館特別展「水中文化遺産～海に沈んだ歴史のカケラ～」

主 催：沖縄県立博物館・美術館

開催時期：①平成26年11月8日～平成27年1月18日

②平成27年1月27日～平成27年2月22日

場 所：①沖縄県立博物館・美術館

②恩納村博物館

入場者数：10,149名 (①9,586名、②563名)

④「海を拓いた萩の人々」

主 催：萩博物館

開催時期：平成26年12月6日～平成27年4月5日

場 所：萩博物館

入場者数：20,922名

⑤特別展「学びの海への船出～探究活動の輝きに向けて～」

主 催：京都大学総合博物館

開催時期：平成26年12月10日～平成27年1月25日

場 所：京都大学総合博物館

入場者数：2,846名

⑥指宿まるごと博物館VI『火山の恵と黒潮交流』

主 催：指宿市考古博物館 時遊館 COCCO はしむれ

開催時期：平成26年12月24日～平成27年3月1日

場 所：指宿市考古博物館 時遊館 COCCO はしむれ

入場者数：1,280名

⑦陸にあがった海軍一連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争

主 催：神奈川県立歴史博物館

開催時期：平成27年1月31日～3月22日

場 所：神奈川県立歴史博物館

入場者数：15,816名

⑧平成26年度マリンサイエンスギャラリー「クラゲ展」

主 催：千葉県立中央博物館

開催時期：平成27年2月14日～3月10日

※3月11日～5月6日までは自主開催

場 所：千葉県立中央博物館分館海の博物館

入場者数：5,852名

④港の歴史ミニパネル展 仙台城下への肴の道と和船の魅力～江戸時代の塩釜湊～

主 催：海商の館 亀井邸

開催時期：平成27年3月8日～3月31日

(江戸木造和船細工の展示は3月15日～22日)

場 所：海商の館 亀井邸

入場者数：1,082名

※4.1企画展合計入場者数 954,028名

(2) ホームページの運用

船の科学館の情報発信との相乗効果を図るため、前年度に引き続き船の科学館のホームページと統合し運用した。

(3) 巡回展アイテムのオーバーホール(平成25年度延長事業)

平成25年度に貸し出した巡回展アイテムを良好な状態にするためのオーバーホールを実施した。

●海と船の巡回展アイテムの種類

- ①海のトイレット
- ②海のぎょ！シアター
- ③海のクラフト工房
- ④マンボウテーブル
- ⑤泳ぎの回転寿司
- ⑥海の生きものせ～くらべ
- ⑦イルカトーク
- ⑧親子を探せ！
- ⑨ウミガメオス・メス スマートボール
- ⑩進化する船たち

●巡回展アイテムセット

- ① 1号機 10種類(全セット)
- ② 2号機 7種類(①⑤⑥⑦⑧⑨⑩)
- ③ 3号機 6種類(①③⑥⑦⑧⑨)

(4) 全国の博物館における「海洋教育」実施状況調査(平成25年度延長事業)

全国の博物館・水族館など社会教育施設(1,000館)を対象に、各館で実施されている「海洋教育」の現状や課題、問題点を把握することを目的としたアンケート調査を実施した。

調査期間：平成26年6月9日～7月7日

対象館数：全国の博物館・水族館など社会教育施設 1,000館

調査方法：インターネットのWebシステムによる回答

(W e b回答が困難な場合は郵送、FAX、eメール)

回答数：534館（回答率53.4%）

(5) 海と船の博物館ネットワーク活動事業の見直しに係る有識者懇談会（平成25年度延長事業）

標記事業の抜本的見直しに資するため、博物館関係者及び海洋教育有識者で構成する懇談会を開催した。

開催日時：平成26年7月29日 11：00～17：30

開催場所：船の科学館

メンバー：座長 半田昌之（日本博物館協会 専務理事）

副座長 長井健生（日本動物園水族館協会 専務理事）

委員 池澤広美（ミュージアムパーク茨城県自然博物館首席学芸員）

委員 堀 成夫（萩博物館 学芸員）

委員 安高啓明（西南学院大学 国際文化部 助教）

委員 酒井英次（海洋政策研究財団 海技グループ チーム長）

議事：①事業見直しにおける海洋教育の重要性について（講演：酒井）

②「海の企画展」支援について

③「海の博物館活動」支援について

④「海の学芸員の調査・研究」支援について

⑤「成果発表・研修会」の開催について

⑥「海の常設展示」支援について

(6) ブランディング業務の実施

新規事業の展開に際し、事業の価値を高め広く活用されるようマーケティング戦略の一つであるブランディングを採用し、事業ネーミングやキャッチコピー等を開発した。

業務内容：①事業ネーミング開発

②キャッチコピー開発

③ステートメント開発

④支援プログラムネーミング開発

⑤支援プログラム説明文開発

⑥事業ロゴ制作

⑦WEBサイト構成監修

⑧WEBサイトデザイン監修

⑨チラシデザイン監修

(7) 「海と船の博物館ネットワーク活動」の見直しにおける新規事業名称と内容の決定

事業名称：海の学び ミュージアムサポート

事業構成：①プログラム1 海の企画展サポート

- ②プログラム2 海の博物館活動サポート
- ③プログラム3 海の学び調査・研究サポート
- ④プログラム4 海の学びセミナー（平成28年度より実施予定）

（8）新規事業「海の学び ミュージアム サポート」のPRチラシ製作

新規事業の展開に際し、その事業内容の周知を図るPRチラシを製作した。

（9）新規事業「海の学び ミュージアム サポート」のWEBサイトの構築

既存の「海と船の博物館ネットワーク活動」とは別にWEBサイトを構築し、新規事業としての内容周知を目的に船の科学館の情報発信との相乗効果を図るため、船の科学館のホームページと統合し運用した。

III. その他財団の目的達成に必要な事業

1. 海洋及び船舶に関する研究

船の科学館が開館以来40年間にわたり収集・作成してきた資料を体系的に整理、修正するとともにデジタル化し、分野毎の「船の科学館収蔵資料目録」を追加制作した。

（1）作成資料

①初代南極観測船“宗谷”写真スキャンデータの作成

船の科学館が所有する初代南極観測船“宗谷”的貴重な写真資料のスキャンデータ化を行った。

②船の科学館収蔵資料目録6<宗谷>DVD追加制作

船の科学館が所有する“宗谷”的改造図面その他貴重な資料を電子データ化したDVDの追加制作を行った。

③船の科学館収蔵資料目録4<絵図>及び収蔵資料目録5<錦絵>の修正及びDVD追加制作

船の科学館収蔵絵画を電子データ化した標記目録の文字データを修正し、DVDの追加制作を行った。

2. 広報活動

船の科学館別館展示場及び初代南極観測船“宗谷”等の来場者の誘致を図るため、「海」「船」「環境」等をテーマとした行催事への共催・後援・協力を行うとともに、地元の教育機関、自治会、マスコミ等に広報活動を展開したほか、交通媒体の利用やテレビ、新聞・雑誌等の取材協力、ホームページ等のWEBを活用した広報活動を行った。

（1）標識掲出及び交通広告の実施

道路標識看板(港区・江東区)

2基

新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」案内看板

1基

3. 諸施設の利用状況

来館者用駐車場(乗用車約400台と大型バス15台)の運営のほか、船の科学館別館展示場等で当財団発行資料の販売等を行った。

なお、本年度の船の科学館利用者は、以下のとおりとなった。

(1) 「船の科学館別館展示場」入場者数	86,988名
(2) 「初代南極観測船“宗谷”」乗船者数	70,438名
(3) 「カヌー操船体験教室」等催事参加者数	2,090名
(4) その他共催・協力等の催事参加者数	25,250名
合 計 (のべ人数)	184,766名

(「別館展示場」及び“宗谷”月別利用実績については別紙4のとおり。)

4. その他

戦艦“陸奥”主砲の寄贈

平成26年8月4日付にて、横須賀市の団体「陸奥の会」より当館屋外展示資料「戦艦“陸奥”主砲」の寄贈の依頼があり、検討を重ねた結果、同艦の生誕の地である同市において適切に管理され、かつ、広く一般に公開されることを条件に基本的に寄贈することを了承し、現在最終的な受入先と移送に向けた協議を行っている。

①寄贈依頼

依頼者：「陸奥の会」代表発起人 齊藤 隆（元統合幕僚長）
(発起人) 小泉進次郎（衆議院議員）
古屋範子（衆議院議員）
吉田雄人（横須賀市長）
板橋 衛（横須賀市議会議長）
平松廣司（横須賀商工会議所会頭）

依頼日：平成26年8月4日

②寄贈の了承

了承日：平成26年10月28日（日海科振34号）

第 3 管理業務

1. 基本財産

平成27年3月31日現在における基本財産は以下のとおりとなった。

なお、前年度からの増減については、特定資産(設備改修準備積立資産・一般)100,000,000円と流動資産100,000,000円を振替えたことによる増(200,000,000円)及び有価証券期末時価評価による増(11,672,398円)によるものである。

(単位:円)			
内訳	前年度末	増減額	当年度末
(1) 預金			
普通預金	1,613,720	770,650	2,384,370
定期預金	236,749	—	236,749
預金計	1,850,469	770,650	2,621,119
(2) 有価証券			
国債	1,251,463,095	214,039,513	1,465,502,608
地方債	637,069,671	△ 3,137,765	633,931,906
有価証券計	1,888,532,766	210,901,748	2,099,434,514
(3) 土地			
船の科学館敷地	6,926,223,802	—	6,926,223,802
合計	8,816,607,037	211,672,398	9,028,279,435

2. 役員・評議員

この年度における役員及び評議員の異動状況は、次のとおりである。

(1) 役員

①代表理事の選定

代表理事の理事長の辞任にともない、平成26年4月2日開催の第134回理事会において、代表理事として鈴木浩司常務理事が選定された。

役職	氏名	選定年月日	備考
代表理事 (常務理事)	鈴木浩司	平成26年4月2日	

②監事の退任

役職	氏名	退任年月日	備考
監事	柴崎治生	平成26年6月27日	自己都合による退任

③監事の選任

平成26年6月27日開催の第44回評議員会において、補欠の監事として菅原悟志氏が選任された。

役職	氏名	選任年月日	備考
監事	菅原悟志	平成26年6月27日	公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団 専務理事

(平成27年3月31日現在の役員は別紙1のとおり。)

(2) 評議員

本年度は異動がなかった。

(平成27年3月31日現在の評議員は別紙2のとおり。)

3. 会議

この年度における理事会及び評議員会の開催状況は、次のとおりである。

(1) 理事会

①第134回理事会

ア. 日 時 平成26年4月2日 11時30分～12時00分
イ. 場 所 船の科学館 会議室
ウ. 報告事項 第43回評議員会の開催状況について
エ. 審議事項
 第1号議案 「理事長及び常務理事の選定」に関する件
 第2号議案 「諸規程の一部改正」の議決に関する件
 第3号議案 「常勤理事の報酬額の承認」に関する件

②第135回理事会

ア. 日 時 平成26年6月10日 11時00分～11時40分
イ. 場 所 船の科学館 会議室
ウ. 審議事項
 第1号議案 平成25年度事業報告及び決算の承認に関する件
 第2号議案 「退職役員に対する退職慰労金支給」に関する件
 第3号議案 第44回評議員会の開催に関する件

③第136回理事会

ア. 日 時 平成26年10月28日 11時00分～11時30分
イ. 場 所 船の科学館 会議室
ウ. 報告事項
 ・平成26年度の上半期（4月～9月）の実施事業について
 ・屋外展示物の譲渡及び移設について

エ. 審議事項

第1号議案 「日本財団に対する平成27年度助成金の交付申請」の議決に関する件

④第137回理事会

ア. 日 時 平成27年3月6日 11時00分～11時30分

イ. 場 所 船の科学館 会議室

ウ. 報告事項

- 平成26年度下半期の実施事業について

- “宗谷”の移設について

エ. 審議事項

第1号議案 「基本財産への繰り入れ」の議決に関する件

第2号議案 「平成27年度事業計画」の議決に関する件

第3号議案 「平成27年度収支予算」の議決に関する件

(2) 評議員会

①第44回評議員会

ア. 日 時 平成26年6月27日 11時00分～11時40分

イ. 場 所 船の科学館 会議室

ウ. 報告事項

- 平成25年度事業報告について

エ. 審議事項

第1号議案 平成25年度決算の承認に関する件

第2号議案 監事の選任に関する件

4. 平成26年度における助成金の交付及び精算

(1) 平成26年度における助成金の交付

この年度においては、日本財団より次のとおり助成金の交付を受けた。

また、「海と船の博物館ネットワーク活動」事業は、日本財団の許可を受け平成27年7月31日まで事業延長となつた。

(単位：円)

内訳	当初助成金決定額	返還額	返還後助成金額
1号交付金			
基盤整備	297,000,000	—	297,000,000
博物館の機能整備	26,710,000	—	26,710,000
海と船の博物館ネットワーク活動	143,070,000	—	143,070,000
合計	466,780,000	0	466,780,000

(2) 平成25年度延長事業に係る助成金の精算

平成25年度の延長事業については事業完了に伴い、助成金額と決算額に差額が生じたため、日本財団に返還した。

(単位：円)

内訳	当初助成金決定額	返還額	返還後助成金額
1号交付金 海と船の博物館ネットワーク活動 (事業完了日：平成26年9月30日)	70,500,000	5,748,000	64,752,000

5. 平成27年度助成金の交付申請

日本財団に対する平成27年度助成金の交付申請については、次のとおり行った。

(平成26年10月30日)

1号交付金

基盤整備	305,000,000 円
博物館の機能整備	26,850,000 円
海の学びミュージアムサポート (海と船の博物館ネットワーク活動より名称変更)	142,770,000 円
合計	474,620,000 円

6. 諸願・届出

(1) 公益社団法人及び公益財団法人認定等に関する法律に基づく届出

内閣総理大臣宛届出

①変更届出書

定款の変更、「理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給基準」の変更、代表者の変更、役員の変更(退任) 平成26年4月16日

②事業報告等の提出

平成26年度事業報告・決算書 平成26年6月28日

③変更届出書

監事の変更(就退任) 平成26年7月18日

④事業計画書等の提出

平成27年度事業計画書・収支予算書 平成27年3月18日

(2) 施設管理に係る諸願・届出

①昇降機定期検査報告書(建築基準法第12条第3項)

東京都知事宛届出 平成26年11月25日

②海域放流水水質試験報告書		
東京都公営企業管理者下水道局長宛届出		平成26年12月4日
③排水設備設置義務免除申請(継続)		
東京都公営企業管理者下水道局長宛		平成27年3月18日
④海上公園占用許可申請(継続)		
東京都知事宛		平成27年3月24日
(3) 国税、地方税に係る届出		
異動届出書(代表者の変更)		
品川税務署長宛届出		平成26年5月28日
東京都品川都税事務所長宛届出		平成26年5月28日
東京都港都税事務所長宛届出		平成26年5月28日

7. 登記

(1) 代表理事就退任の登記(第134回理事会選定)	平成26年4月3日
(2) 役員(監事)選退任登記(第44回評議員会選任)	平成26年7月4日

8. 定款

定款の一部変更(平成26年4月1日施行)

代表理事に関する変更。

(変更前)代表理事は理事長 (変更後)代表理事は、理事長及び常務理事

平成26年3月25日開催の第43回評議員会において議決。

9. 規程・達

(1) 規程

①一部改正

ア. 組織規程の一部を改正する規程(平成26年4月2日規第192号)

イ. 職員就業規則の一部を改正する規程(平成26年4月2日規第193号)

ウ. 文書処理規程の一部を改正する規程(平成26年4月2日規第194号)

エ. 文書の種類と形式に関する規程の一部を改正する規程(平成26年4月2日規第195号)

オ. 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部を改正する規程(平成26年4月2日規第196号)

カ. 職員給与規程の一部を改正する規程(平成26年4月2日規第197号)

キ. 職員退職手当支給規程の一部を改正する規程(平成26年4月2日規第198号)

ク. 旅費規程の一部を改正する規程(平成26年4月2日規第199号)

- ケ. 経理規程の一部を改正する規程(平成26年4月2日規第200号)
- コ. 事業活動準備金規程の一部を改正する規程(平成26年4月2日規第201号)
- サ. 設備改修準備金規程の一部を改正する規程(平成26年4月2日規第202号)
- シ. 船の科学館の設置及び管理等に関する規程の一部を改正する規程(平成26年4月2日規第203号)

(2) 達・内規

①一部改正

- ア. 職員勤務評定実施要領の一部を改正する達(平成26年4月23日達第258号)
- イ. 組織規程施行規則の一部を改正する達(平成26年4月23日達第259号)
- ウ. 育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する達(平成26年4月23日達第260号)
- エ. 永年功労者表彰規則の一部を改正する達(平成26年4月23日達第261号)
- オ. 役付職員の役職定年について定める達の一部を改正する達(平成26年4月23日達第262号)
- カ. 公印取扱規則の一部を改正する達(平成26年4月23日達第263号)
- キ. 職員給与規程施行規則の一部を改正する達(平成26年4月23日達第264号)
- ク. 旅費規程施行規則の一部を改正する達(平成26年4月23日達第265号)
- ケ. 物品の購入、製作、改造、修繕及び工事、役務契約における事務処理の基準を定める達の一部を改正する達(平成26年4月23日達第266号)
- コ. 契約委任事項及びその契約責任者を定める達の一部を改正する達(平成26年4月23日達第267号)
- サ. 事業活動準備金及び設備改修準備金の積立ての限度額並びに運用方法を定める達の一部を改正する達(平成26年4月23日達第268号)

10. 情報開示

財団のホームページに、「定款」、「役員名簿」、「評議員名簿」、「事業及び財務等に関する資料」並びに『「国と特に密接な関係がある」公益法人への該当性について』を掲載した。

11. 外部監査

公認会計士篠原通夫氏と平成26年度事業に関する監査契約を締結し、監査を受けた。

12. 事務局

平成27年3月31日現在における事務局の機構は別紙3のとおり2部3課制、職員数は9名(ほか契約職員3名)である。

13. 施設管理業務

①屋内外清掃管理

委託業者：小林産業(株)

期 間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

内 容：屋外及び本館3階事務所等の清掃、塵芥廃棄物処理作業

②警備

委託業者：K S P・W E S T(株)

期 間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

内 容：館内外及び展示物等の警備業務

③施設の衛生消毒

委託業者：銀座化成産業(株)

期 間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

内 容：本館・宗谷・別館展示場の衛生消毒